

## 【別紙】タクシーの衝突事故(長崎県平戸市)

### (概要)

平成30年6月19日13時05分頃、タクシーが乗客1名を乗せて、片側一車線を走行中、運転者の意識が低下した状態となり、左カーブで対向車線側に進行、対向車と衝突。



### (背景)

○運転者は以前から日中眠い状況が続いており、事故当日も眠気を感じたまま運転。

→事故後に睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査を受診したところ、重度のSASであることが判明。

○運転者の所属するタクシー会社の運行管理者は、いわゆる「指導監督の指針」「健康管理マニュアル」について知らず、運行の安全等を確保するために必要な知識を運転者に習得させていなかった。

→そのため、運転者は、自身が日中眠い状況が続いていることを、会社に報告していなかった。

○また、SASについて、そのような病気があることを事故が起きるまで知らなかった。

### (再発防止策)

○国土交通省が作成した事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル等を活用し、運転者に対し、健康管理の重要性を理解させましょう。

○国土交通省が作成したSAS対策マニュアル等を活用し、SASの早期発見、早期治療につながる取組を進めましょう。

